

足の動きにフィット



足や指にフィットすべく、アウトソールそのものは柔らかい設計とし足のストレスを軽減。にもかかわらず安定性は高い!



SPH4601



SPH4602

足裏の感覚を引き出す

姿勢の保持は「三半規管」「視覚情報」「体性感覚」が複合的に組み合わせられ行われる。このインソールは、その体性感覚の一種である足裏の圧力分布を知覚しやすくなるような設計。



凹凸が機能するインソール・アウトソール

歩行をより快適に行うべく、インソールとアウトソールで異なる凹凸を配置。足裏を適度に刺激し路面からの圧力を知覚することでバランス意識を高めるとともに、足のプレを抑える。



凹部あり

凹部なし



体重移動にあわせた高低差を設けることで重心のプレを抑える。

足のバランス感覚を刺激する安定歩行設計

BALANCE WORKS

価格 8532円



SPH4600

MOONSTAR

ムーンスター

ビジネスマンの足について考え抜かれた新技術満載

仕事が好きなら靴

履き心地の悪い靴では、ビジネスなんてママならない。ムーンスターの新作で、次の一步が確実なものになる!

写真/篠田圭也 文/飯野高広

非対称ヒールで安定



内くるぶし側を敢えて長く設計したヒール。プロネーション動作を抑制し、サポートすることで歩行時のかかとからの着地を安定させる。

SPH4501



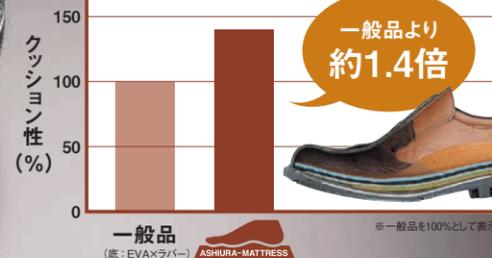
クッション構造が足腰の負担を軽減する

足裏マットレス

価格 1万7280円



クッション性比較



精品主義で140年

ムーンスターの国内関連工場での作業風景。極めて厳格な品質管理体制は、靴業界を超えて定評がある。それを支えるのが1人1人の職人の正確な作業と意識である。



SPH4500

SPH4502

のマットレスから着想を得たもので、足が直接触れるインソールには低反発性素材、それを下支える中底には2種類の高反発性素材を積層させているのが特徴だ。性格の対照的なクッションを重ねるのを通じ、ソフトな履き心地と足腰への負担軽減、更には耐久性まで鼎立させている訳だ。耐滑性に優れたPUとラバー製の外底は、なんとオイルソール交換も可能で、長期に渡り愛用できる点もありがたい。いっぽうこの春登場する「バランスワークス」シリーズは、柔軟さと安定性に着目し、足のストレスを軽減することに重点を置いた商品だ。具体的には、足裏の感性にに合わせて設計し、四千通り以上に相当する組合せから生まれた、独自開発のドット形状を備えたインソールで足裏の圧力分布を知覚しやすくするよう配慮。また柔軟で足への追従性に優れたアウトソールに凹部を設け、靴全体のぐらつきも抑えている。双方のシリーズともヒールやカウンターを内・外で敢えて非対称設計とし、着地時のかかとの安定性をいっそう高めている点も見逃せない。

日本人の足と足場を知り尽くし、足元の余計な負担をなくすことに徹底的に注力してきたがゆえ、性別や世代、用途までも軽く踏ぎ、支持を長年集めるムーンスターの靴達。わが国の繁栄を、正に足元から支え続けるそのビジネスシューズは、同社のマークとして戦前から愛されている月と星の如く、これからは多くの男性に「次に進むべき道」への、確かな指針となり続ける!

足腰への配慮抜群のソール

唐突だが、皆さんは生まれてからいったい何種類の靴を履いてきただろうか。ビジネスシューズやウォーキングシューズだけでは、当然ないだろう。アメのキャラが描かれた子供靴、小中学生の頃毎日使った体育館履き、バイト先の居酒屋の厨房で履いたゴム長靴。そこで稼いだお金で買ったスニーカーなど、思い出せば誰でも結構あるはずだ。今挙げたさまざまな靴を全て製造できるメーカーこそが、わが国の「ムーンスター」である。明治維新直後、九州のへそ・久留米で「つちやたび店」として足袋の製造からスタートした同社は、その機械化・工場生産化にいち早く取り組み、大正時代には地下足袋やゴム長靴、さらには今日「スニーカー」と呼ばれる運動靴まで開発し、本格的に輸出を行うまでに成長。戦後も製品バリエーションを拡充させ、すべての日本人が何らかの形で一度は身に着ける、あまりにお馴染みな靴メーカーとなった。歴代の職人が制作してきた木型の累計は約1万6000種、そしてその基礎データとなる足型は、なんと累計約26万人分も計測してきたというから驚きである。

そんなムーンスターの今日の得意分野のひとつが、ここに紹介するようなビジネスシューズ。特に底面の設計は評価が高く、長年に渡る靴の扱いで得た多くのノウハウを、如何なく発揮している。例えば昨夏登場した「足裏マットレス」シリーズ。その名の通りベッド